



DVI-9990J

DVD-Audio/Video Tuner

取付説明書

目次

安全にお使いいただくために	2
1.正しい作業のコツ	4
2.準備	4
3.接続する	5
4.取り付ける	5
5.リモコンホルダーを取り付ける	6
6.確認する	6
7.接続図	7
8.他製品との接続	8

安全にお使いいただくために、必ずお守りください

- 本機の取り付けには、専門技術と経験が必要です。お買い上げ店での取り付けをお勧めします。
- ご使用前に、この取付説明書と別冊の取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。説明書の指示を守らなかったことによる不具合に対して、当社は責任を負いかねます。
- この取付説明書は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

分解・改造をしないでください。事故・火災・感電の原因になります。



電池・ネジなどの小物類は、幼児の手の届かないところに保管してください。飲み込んだ場合には、ただちに医師と相談してください。



ヒューズ交換は、規定容量（アンペア数）を守ってください。
事故・火災の原因になります。



DC12Vマイナスアース車以外に接続しないでください。
事故・火災の原因になります。



配線作業の前にはバッテリーのマイナス端子からアース線を外して、配線作業をしてください。感電・ケガの原因になります。



コードの被覆を切って、他の機器の電源を取らないでください。火災・感電の原因になります。



前方の視界を妨げる場所、ハンドル・変速レバーなど運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には、取り付けしないでください。事故・ケガの原因になります。



取り付け・アース接続には、ハンドル・ブレーキ・タンクなどのボルトやナットを使わないでください。制動不能・火災の原因になります。



コード類は運転操作の妨げとならないように束ねてください。ハンドル・変速レバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故・故障の原因になります。





注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

説明書に従って、正しく接続してください。火災・事故の原因になります。



禁止

コードをシートレールにはさんだり、突起部に当てたりしないでください。断線やショートにより、感電・火災の原因になります。



通風孔・放熱板をふさがないでください。火災・故障の原因になります。



禁止

付属部品を指定通りに使い、しっかりと取り付けてください。事故・故障の原因になります。



禁止

水のかかるところ、湿気やホコリの多いところには取り付けしないでください。火災・故障の原因になります。



禁止

取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。お買い上げ店に依頼してください。



本機をご使用になるためには、別売のマルチメディアマネージャー (PXI-H990)、または別売の DACユニット (DAI-C990) が必要です。PXI-H990、またはDAI-C990 との接続により、本機の電源が入ります。



1. 正しい作業のコツ

- 1) ここからの説明は、専門技術と経験のある方を対象にしています。
- 2) 車のインパネなどの「取り付け取り外し情報」を販売店から入手してください。
- 3) 動作確認の際に本機の操作を行いますので、本説明書の操作説明部も必ずお読みください。
- 4) 組み合わせる製品の取付説明書も合わせてご覧ください。
- 5) コンピューターが装着されている車は、バッテリーのマイナス端子を外すとメモリーが消えてしまうことがあります。
- 6) 一部の車種（外国車など）では、バッテリーのマイナス端子を外すと、電装系に不具合が生じる場合があります。詳しくは、ディーラーへお問い合わせください。
- 7) 接続の際は、コードに付いているラベルや本説明書を確認しながら、注意して行ってください。
- 8) 音声出力ケーブルを接続するときは、コード端子の色とターミナルの色を合わせてください。
 - ・ RCAコード、ピンコード
家庭用機器の信号の受け渡しに利用されるRCA考案のコネクター付きコードをいいます。カーオーディオはもちろん家庭のステレオ／ビデオ／テレビ等に幅広く採用されています。白がオーディオの左チャンネル、赤が右チャンネル、黄色がビデオ信号です。
- 9) 接続しないコードは、コードの端にビニールテープを巻いてください。
- 10) 取り付け場所について
ディスクの出し入れの際、車のシフト操作に支障がないことを確認のうえ、取り付け場所を設定してください。
- 11) 水平に対して35度以内に取り付けてください。
- 12) 不明な点はお買い上げ店／インフォメーションセンターにお問い合わせください。

2. 準備

1. 車を平坦で安全な場所に停める。さらに、パーキングブレーキをかけ、イグニッションキーを抜く。
2. 付属部品を確認し、工具／取り付け情報をそろえる。

電源コード
(2m)



PIN接続コード
映像信号用 (6m)



S端子コード
(3m)



サラネジ
(M5×6)



×4

ナベネジ
(M5×6)



×4

リモコン用部品

リモコン



電池 (単4)



タッピングネジ
(M3×12)



×2

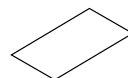
リモコンホルダー



両面テープ



リモコン操作シール



3. バッテリーのマイナス端子を外す。
4. 灰皿、小物入れなどを外し、パネル（インパネ）を外す。
5. 車から取り付けブラケットごとカーオーディオを外す。
6. オーディオに付いているケーブルを外し、ブラケットからオーディオを外す。
(ブラケットは、4. 取り付ける 2. で利用します。)

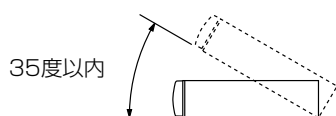
3. 接続する

1. 7ページの基本接続図を参照して接続する。
 - 他の製品と組み合わせた接続例も記載しています。御希望の組み合わせを確認しながら作業を進めてください。
 - 誤接続を防ぐために、接続するごとに✓点をつけてください。
2. ヘッドユニットに電源コードを接続する。
「カチッ」と音がするまで差し込みます。
3. 正しく接続されているか、✓点が付いているところはないか確認する。
4. バッテリーマイナス端子を接続する。
5. イグニッションキーをONにして本機電源を入れ、音が正しく出ているかなどを確認する。
 - 固定する前に動作確認しておけば安心です。正しい動作をしない場合は、もう一度接続を確認してください。
6. 本機の電源を切る。
7. イグニッションキーを抜いて、バッテリーマイナス端子を外す。

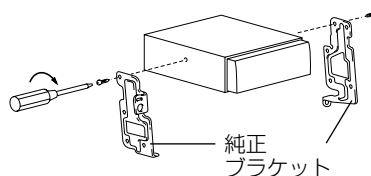
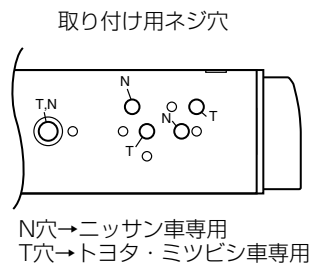
4. 取り付ける

取り付けの際は必ず、フロントパネルを付けた状態で行ってください。フロントパネルを外した状態で取り付けると故障の原因となります。

1. ディスクの出し入れの際、車のシフト操作に支障がないことを確認のうえ、取り付け場所を決める。



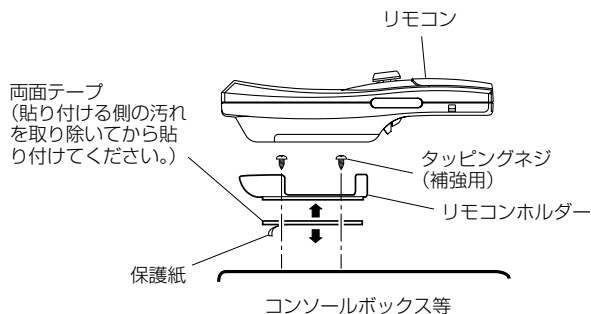
2. 本機に純正ブラケットを付属のネジでしっかり取り付ける。



- 3 「ブラケットと一体になった本機」を車両にしっかり取り付ける。
- 4 インパネを取り付ける。
5. コード類を固定する。
シートレールなどの可動部に挟み込んだり、突起部に当たったりして、コードを傷めないように注意して固定します。
6. バッテリーマイナス端子を接続する。

5. リモコンホルダーを取り付ける

- リモコンに直射日光が当たるときは、ホルダーから外してグローブボックスに保管してください。
- 両面テープで確実な取り付けができない場合は、付属ネジを使って取り付けてください。



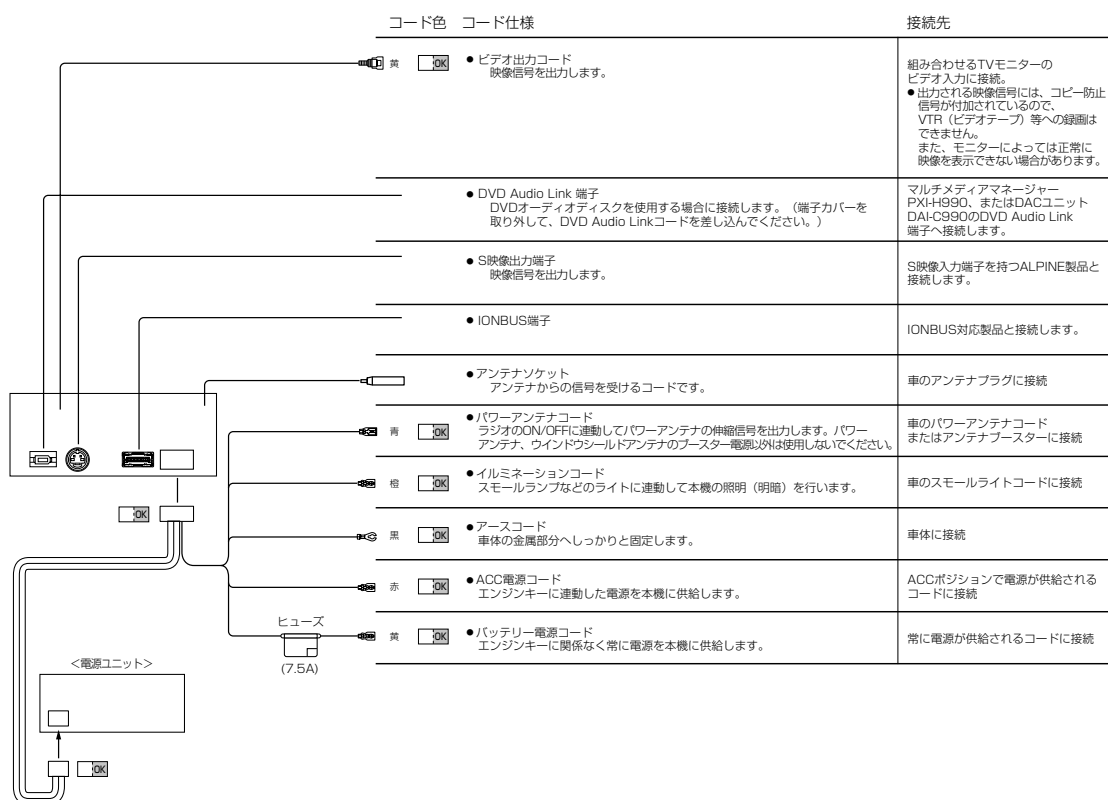
⚠ 警告 助手席エアバッグの近くにリモコンホルダーを取り付けない。
不適切な取り付けをしますと、エアバッグが正常に動作しなかったり、動作したエアバッグで部品が飛ばされ、事故やケガの原因になることがあります。

6. 確認する

1. イグニッションキーをONにして、本説明書を参考に本機の動作が正しいことを確認する。
2. ホーン（クラクション）、ストップランプなどの車両電装品が正しく動作することを確認する。

7. 接続図

● 基本接続図



接続しないアンテナコードは、金属部分などに接触するとノイズの原因となりますので、テープなどで固定してください。

⚠ 注意

＜電源ユニット取り扱い上のご注意＞

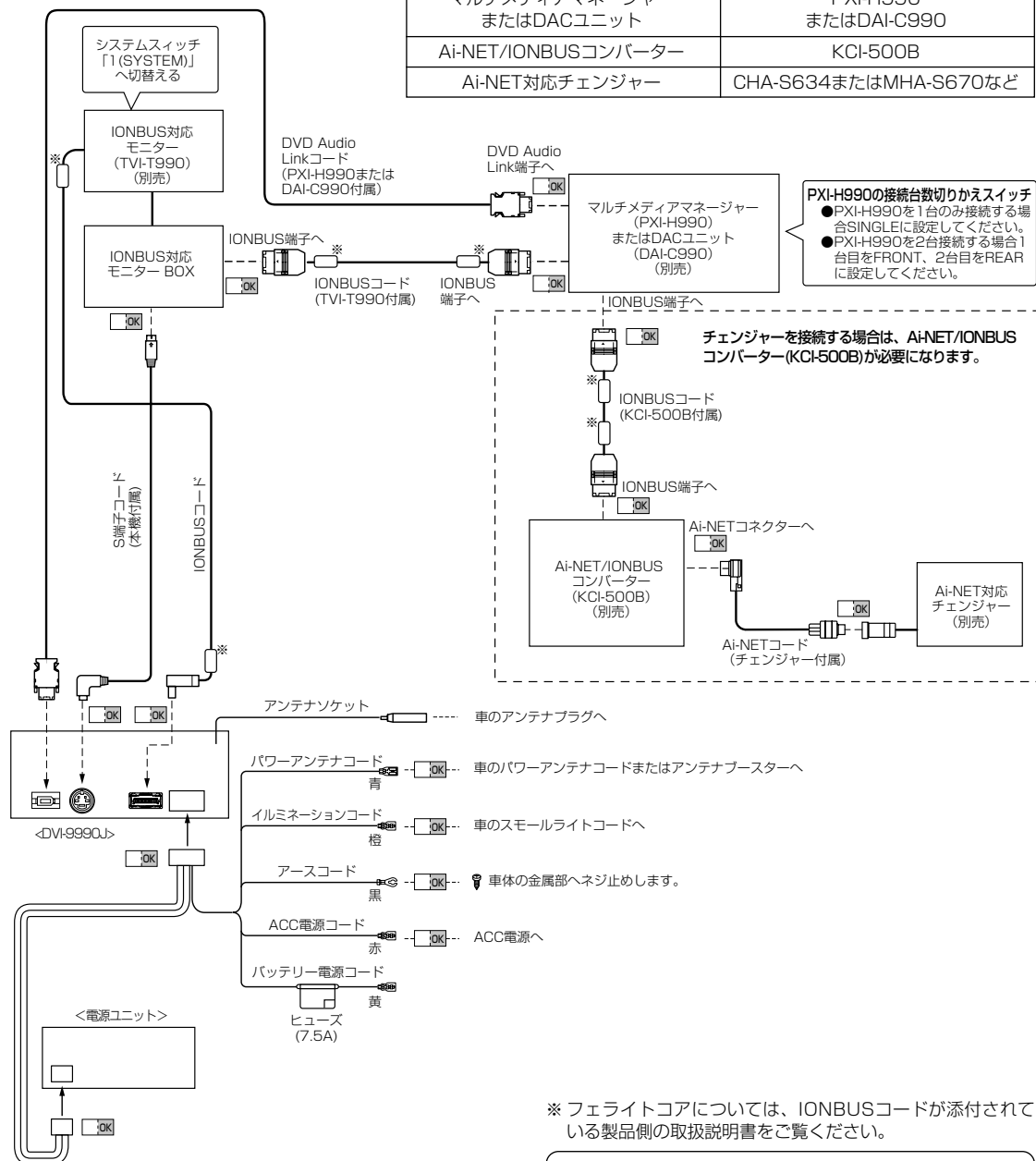
- 電源ユニットはフロアマットの下やエアコンなどの水がかかりやすい場所へは設置しないでください。故障の原因になります。
- 電源ユニットのケーブルは他のオーディオケーブルといっしょに束ねたり、また本体に接触させないでください。雑音の原因になります。
- 電源ユニットは熱を持ちますが、故障ではありません。

8. 他製品との接続

● システム図<例1>

システム組み合わせ製品

IONBUS対応モニター	TVI-T990
マルチメディアマネージャー またはDACユニット	PXI-H990 またはDAI-C990
Ai-NET/IONBUSコンバーター	KCI-500B
Ai-NET対応チェンジャー	CHA-S634またはMHA-S670など



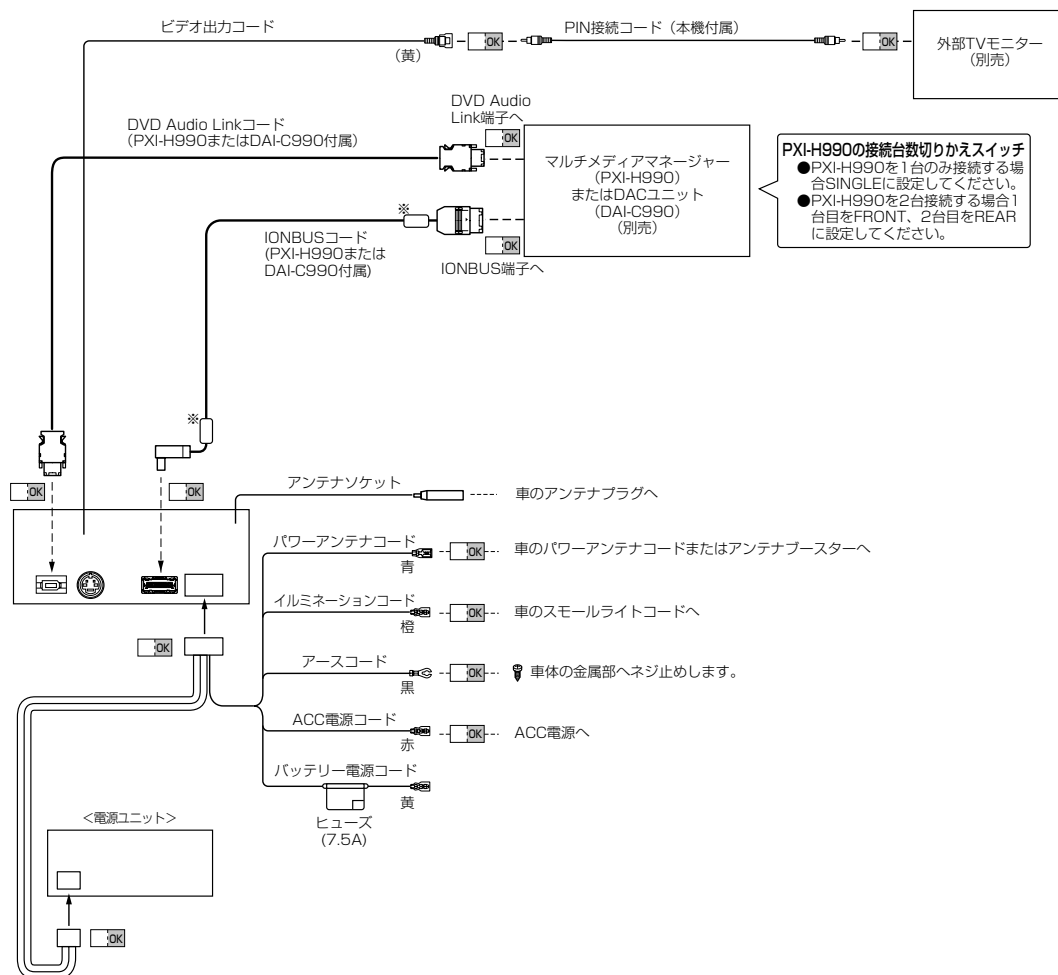
※ フェライトコアについては、IONBUSコードが添付されている製品側の取扱説明書をご覧ください。

- △注意**
- 電源ユニットはフロアマットの下やエアコンなどの水がかかりやすい場所へは設置しないでください。故障の原因になります。
 - 電源ユニットのケーブルは他のオーディオケーブルといっしょに束ねたり、また本体に接触させないでください。雑音の原因になります。
 - 電源ユニットは熱を持ちますが、故障ではありません。

● システム図<例2>

システム組み合わせ製品

マルチメディアマネージャー またはDACユニット	PXI-H990 またはDAI-C990
外部TVモニター製品	IONBUS未対応TVモニター



※ フェラ이트コアについては、IONBUSコードが添付されている製品側の取扱説明書をご覧ください。

△注意

- 電源ユニットはフロアマットの下やエアコンなどの水がかかりやすい場所へは設置しないでください。故障の原因になります。
- 電源ユニットのケーブルは他のオーディオケーブルといっしょに束ねたり、また本体に接触させないでください。雑音の原因になります。
- 電源ユニットは熱を持ちますが、故障ではありません。

- 製品の規格および外観は、改良のため予告なく変更する場合があります。
- 本説明書のイラストは、印刷条件により、印象が異なる場合があります。
- 本書の一部または全部を無断で転載しないでください。
- 本製品は国内専用です。



お問い合わせはインフォメーションセンターへ

- インフォメーションセンター
TEL : 048-662-6636
- インフォメーションセンター西日本分室
TEL : 06-6386-2236
- 電話受付時間 土日祝日、弊社休業日を除く 9:30~17:30
- 電話は混雑が予想されます。FAXでのお問い合わせをおすすめします。
FAX : 048-662-6676
- アルパインホームページ : <http://www.alpine.co.jp>



古紙配合率100%再生紙を使用しています

アルパイン株式会社
Designed by ALPINE Japan
Printed in Japan (S)
68-00323Z15-A